

# 女性が考えるにいがたの未来 ワークショップまとめ

平成26年7月

新潟市地域・魅力創造部 政策調整課



# 概 要

---

## 1 目的

新潟市では、2040年までに子どもを産み育てる中心世代である若い世代の女性が4割減少すると推計されており、このことに対する対応策や原因などを探るため事前に実施した「女性を対象とした聞き取り調査」の結果を踏まえながら、さらに議論を深めるもの。

## 2 実施日

平成26年7月21日（月・祝） 13:30～16:00

## 3 会場

東区プラザ 多目的ホール2

（新潟市東区下木戸 1-4-1 東区役所 2階）

## 4 参加者

11名

（専門学校生、大学生、子育て支援団体）

## 5 テーマ

『 若い女性の流出を減少させるために、  
これから私たちが取り組むべきことは何ですか 』

《流出している主な原因》

◎首都圏への憧れ
<ul style="list-style-type: none"><li>・新潟市にはない「刺激」を求めている</li><li>・交通の便の良さや何でも揃っている「便利さ」への憧れ</li></ul>
◎進学先の選択肢が少ない
<ul style="list-style-type: none"><li>・「公立の大学」を希望しても、新潟市内に選択肢が少ない</li><li>・就職に有利と言われている「知名度の高い大学」が首都圏に偏っている</li></ul>
◎希望する就職先が少ない
<ul style="list-style-type: none"><li>・新潟市内の大学・専門学校で学んだ「専門知識・資格」を活かせる職場が少ない</li><li>・「育児休業」など子育て支援に力を入れた企業が少ない</li></ul>
◎子育て支援が足りない
<ul style="list-style-type: none"><li>・保育園数はかなり整っているが、希望する保育園に入れないことや求職中だと入りづらいなど、まだまだ預けやすい環境が整っていない</li><li>・男性の育児に対する支援や雰囲気できていない</li></ul>
◎商業施設・レジャー施設が少ない
<ul style="list-style-type: none"><li>・若い世代が集まる「お店・遊ぶ施設・イベント」が少ない</li><li>・近隣にテーマパークなど「レジャー施設」が少なく、施設規模が小さい</li></ul>

## 《取り組む方向性》

### ◎教育の充実

- ・小中高生の頃から地域に関わる機会を充実させる  
⇒ 幼少期から地元への愛着を育てる
- ・新潟市内の大学・専門学校を選んでもらう環境を整備する  
(学校・学科を増やし選択肢を広げる、学校の知名度を高める、  
学校で学んだ知識などを活かせる職場を近場に充実させるなど)  
⇒ 大学・専門学校への進学から就職までのつながりをつくる

### ◎魅力の向上

- ・田園や水辺環境などの自然と都市が融合している良い環境を伸ばす  
⇒ 他都市との違い、特色を活かす
- ・新潟市民が新潟市のことをもっと知る  
⇒ 魅力を発見し、地元への愛着を育てる

### ◎地域のつながりを深める

- ・地域で子どもを見守る環境を整備する  
⇒ 地域で子育てする親を支えることで、暮らしやすい環境をつくる
- ・地域住民同士が普段から助け合うなど、関わりを深める  
⇒ 住み慣れた地域で安心して暮らすことで、地元への愛着を育てる

### ◎子育て支援の充実

- ・子育てしながら働ける環境を整備する
- ・子育てに関する情報を得やすい環境を整備する  
⇒ 暮らしやすい環境をつくる